



おとふけ

社協だより

No. 158

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 0155-42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : <http://otofuke-shakyo.jp>

令和 5 年 9 月 25 日

就任のごあいさつ

去る 6 月 29 日に開催された評議員会にて理事に再任いただき、その後開催された理事会において、退任された河田さえ子前会長の後を受け、会長に就任いたしました 植田 公明 でございます。

さて、人口減少社会に突入するとともに、少子高齢化が加速する時代の中で、地域福祉を取り巻く状況は大きな変革期にあり、地域住民が抱える福祉課題はこれまで以上に複雑化・複合化していると認識しております。

そのような時代において、地域福祉の推進を担う、社会福祉協議会の重責に身の引き締まる思いです。

町民の皆様のお役に立てるよう、役職員一丸となり、誠心誠意各種事業に取り組んでまいりますので、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新役員（令和 5 年 6 月 29 日～令和 7 年 6 月定時評議員会終結時）

【理事】

- | | | | |
|-------------|---------|---------|--------|
| ・植田 公明（会長） | ・遠藤 憲晃 | ・古瀬 シズ子 | ・豊島 英俊 |
| ・佐藤 千恵（副会長） | ・佐々木 拓也 | ・三浦 昭博 | ・松原 聡 |
| ・中村 友子（副会長） | ・傳法 ひとみ | ・宮下 悦二 | |
| ・石川 満（常務理事） | ・中西 圭一 | | |
| ・阿部 富美代 | ・林 郁雄 | | |

【監事】



音更町社会福祉協議会
会長 植田 公明

10月1日より77回目の「赤い羽根共同募金運動」がはじまります!!

共同募金の募金活動は、毎年 1 回、厚生労働大臣が定める期間に全国一斉に展開されます。10 月からは赤い羽根共同募金、12 月中は歳末たすけあい募金もあわせて実施されます。音更町において**昨年は 3,431,406 円**の共同募金のご協力をいただきました。寄せられた募金は、一旦北海道共同募金会へ送金した後、音更町内の福祉事業と全道各地の福祉施設や団体の支援に充てられました。その他、募金の一部は大規模な災害に備えた準備金として積み立てられます。



おとふけ
福祉フェスタ
2023を開催
します

例年 7 月に開催しております「福祉まつり in おとふけ」につきましては、今年度も開催を中止とさせていただきますが、規模を縮小してのイベントとして「おとふけ福祉フェスタ」を 11 月 5 日（日）に開催いたします。「福祉」を身近に感じることが出来る楽しい内容を企画しておりますので、ぜひご来場ください♪
詳細につきましては、改めてご案内いたします。

Facebook更新中

本会で実施している事業について、随時情報発信をしています。ぜひご覧ください。

本会ホームページからもご覧いただけます。 → <http://otofuke-shakyo.jp/>

スマートホンの方はこちらから →



この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



封筒募金協力をお願い

今年も10月1日から12月31日の3か月間「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。

音更町共同募金委員会では募金用の封筒を用いた「封筒募金」により、皆様の善意の募金をお願いしております。

音更町をはじめ北海道全体の福祉の充実のため、ご協力を心からお願い申し上げます。

- ・赤い羽根共同募金は善意の募金ですので、金額についても定めはありません。匿名希望がない限り4月号の「社協だより」にお名前と募金額を記載させていただきます。
- ・領収書の発行を希望される場合は、封筒にその旨を明記願います。事務局より発行いたします。
- ・封筒に記載された個人情報については、共同募金以外の目的には使用いたしません。

納入方法・場所

①封筒ご持参の場合

■音更町共同募金委員会事務局

(音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内)

■音更町役場木野支所

(音更町木野大通西6丁目1番地)

月～金曜日(祝祭日は除く) 午前8時45分～午後5時30分

※音更町役場木野支所においてもお預かりいたしますが、領収書については後日、事務局より発送いたします。

②口座振込の場合

音更町農協・木野農協より口座振込いただけます。

それぞれ金融機関に専用の振込依頼書をご用意しておりますので窓口にお申し出ください。

(振込手数料はかかりません)

また、ご連絡いただければ職員がご自宅までお伺いいたします

※町内会によっては町内会役員や班長さんがご協力をお願いにお伺いする場合がございます。

※郵便ポストへは投函できませんのでご注意ください

北海道共同募金委員会音更町共同募金委員会
(音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内)
☎ 42-2400 FAX 42-5481

今年度音更町共同募金委員会の目標額は
3,400,000円です



目標額とは？

赤い羽根共同募金は集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているわけではありません。まず、様々な団体に申請を呼びかけ、配分を受けるための申請をいただきます。その内容について考慮した後、配分計画を作成します。

そしてこの計画に必要な額を「目標額」に設定して募金を行う仕組みです。

赤い羽根共同募金の流れ

共同募金活動の展開方法

封筒募金

各戸へ募金用封筒を配布し、ご協力いただく募金

法人募金

企業や商店などにご協力いただく募金

町内会募金

町内会を通じてご協力いただく募金

職域募金

企業や団体などに働く方よりご協力いただく募金

学校募金

町内の小・中・高等学校にご協力いただく募金

その他の募金

イベント募金や募金箱への寄付など

寄付金付きピンバッジの購入

1個500円のピンバッジを購入することで製作費を差し引いた額が音更町の募金となります

北海道共同募金会

音更町内の活動に配分

ボランティアセンター事業

地域交流サロンの推進

地域農園事業

社協だよりの発行

子ども食堂の運営補助

北海道内の活動に配分

もしもに備えた災害準備金

地域推進を目的とした総合支援事業

地域障がい児者支援事業

地域青少年児童健全育成事業

住民全般を対象とした事業

緊急性のある事業



～赤い羽根共同募金を財源とした事業～

地域交流サロンの推進

地域交流サロンとは、自宅や身近な地域会館を会場にして、参加者全員で内容を決めて運営していく仲間づくりの交流活動です。各サロンへの運営費の助成には赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむサロンやレクリエーション、体操など、参加者の興味のあることを企画するサロン等、現在、町内に20か所開設されています。令和4年度は、延437回開催され、延3,700名の方がサロンに参加されています。



地域農園事業

どなたでも参加でき、農作業を通じて外出の機会、社会参加の場を創出すること、活動を通じた参加者同士の「支え合い」の関係構築を目的に地域農園事業を実施しています。

社会福祉法人音更町柏寿協会様、社会医療法人博愛会様の2法人の協力のもと町内で2か所の地域農園が開設されています。

地域の方、施設利用者の方、子育てサロンの方など、色々な方に参加いただき、楽しく作業をしています。



令和5年度から、コミサポカフェを開催しています

「誰でも安心して、楽しめる居場所」「地域の皆さんがつながる場」を目指して、社協に登録するコミュニティサポーターが運営するカフェです。帯広大谷短期大学介護福祉専攻の学生の皆さんにも協力いただき、にぎやかで楽しい時間となっています。

お茶菓子を用意してお待ちしています。年齢に限らず、障がいや認知症の有無も問わず、どなたでも気軽に参加できます。どうぞお越しください！

- 場 所：音更町総合福祉センター 大集会室
- 日 時：奇数月第4金曜日10時～12時
※令和5年度（11月24日、1月26日、3月22日）
- 料 金：200円（飲み放題）



地域のためにできること 探してみませんか？



～コミュニティサポーター養成講座を開催します～

●コミュニティサポーターとは？

音更町が「誰もが安心して生活できる町」となるように、本会職員と共に地域の困りごとや課題について考え、解決に向けて取り組む人です！現在、約40名の方が登録していただいております。

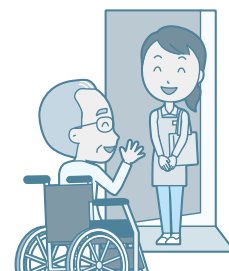
●こんな人を募集しています

「退職して自由時間が増えた」 「誰かの役に立ちたい」 「隙間時間に何かしたい」

●サポーターの皆さんの活動

・見守り訪問事業

在宅で生活している認知症の症状がある方を対象に、コミュニティサポーターが話し相手や介護者不在時の留守番、本人との趣味活動等の見守り支援を行います

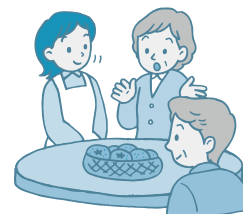


・緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業

申請により登録した一人暮らしの高齢者の自宅の鍵を預かり安否確認をします
コミュニティサポーターには関係機関とともに
対象者の日常の声かけ・見守りをお願いしています

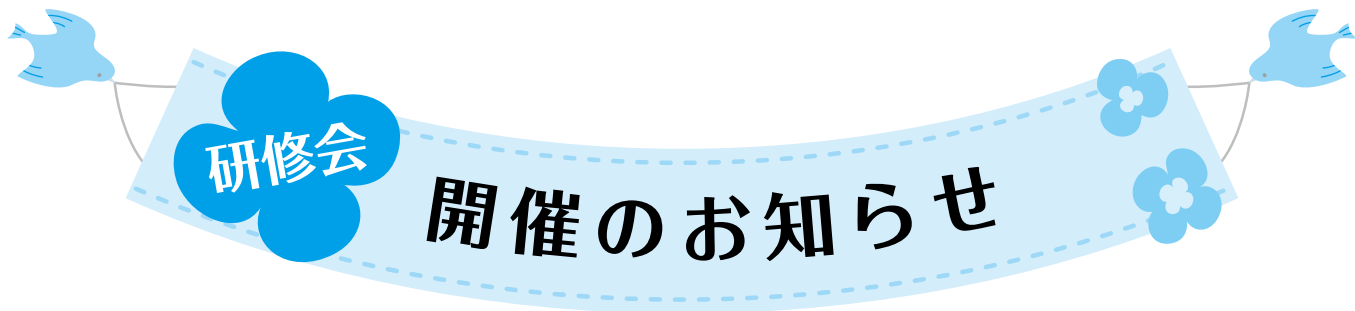
・コミサポカフェの運営

[前ページに掲載しているコミサポカフェの運営に協力いただいております](#)



《講座概要》

- ・日時：令和5年10月30日（月）13時00分から16時20分
- ・場所：音更町総合福祉センター中集会室（音更町大通11丁目1番地）
- ・内容：①住民主体の支え合いについて ②認知症の理解 ③在宅訪問の心構え
④コミュニティサポーターの活動報告 ⑤講座修了後の活動について
- ・受講対象者：音更町民
- ・定員：20名 ・受講料：無料
- ・申し込み：事前の申し込みが必要です。下記まで電話かFAXで申し込みください。
音更町社会福祉協議会（TEL：42-2400、FAX：42-5481）
- ・申込締切：10月23日（月）



研修会 開催のお知らせ

日にち：令和5年10月10日（火）
ところ：音更町総合福祉センター
（音更町大通11丁目1番地）

①ボランティア養成講座

時間：13時30分～14時30分（13時より受付を開始いたします。）

ボランティアに興味や関心のある方を対象に、ボランティア活動のきっかけづくりや、安心して活動できるように研修会を開催します。

<対象> 音更町にお住いのボランティアに興味がある方（年齢の制限はございません。）

<内容> ・ボランティアとは？
・町内のボランティア活動の紹介

②おとふけ生きいきポイント登録研修会

時間：14時40分～15時30分

<対象> 65歳以上の音更町民（研修会の受講・登録は無料）

- ・今回、初めて手帳を持ちたい方
- ・手帳は持っているが、研修会を受講したことがない方

※この研修は一度受講し、登録した方は再受講する必要はありません。

<内容> 事業説明・介護支援者活動の心構え、登録手続き・生きいきポイント手帳交付

<持ち物> 介護保険被保険者証・筆記用具

おとふけ生きいきポイント事業とは、

- ・音更町の指定する福祉施設等でボランティア活動をすると、ポイントが付与され、ポイント数に合わせた金額を受け取ることができます。

（1ポイント＝100円 換金は10ポイント以上～50ポイントまでです）

- ・音更町在住の65歳以上の方でボランティア活動を通じ、自身の介護予防や地域との支えあい・つながり活動を目的としています。

【申込・お問い合わせ】

社会福祉法人 音更町社会福祉協議会
ボランティアセンター 担当：加藤
☎42-5005

①・②のどちらか1つに参加できる方も
申込をお願いいたします。
申込締切：10月5日（木）

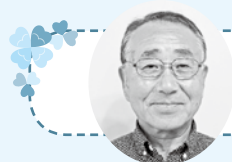


音更町成年後見サポートセンターだより

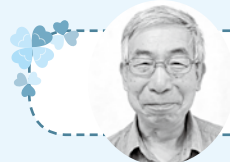
法人後見支援員についておしえてください！！

音更町社会福祉協議会では、平成27年から法人後見事業を実施しています。成年後見制度等の知識や技術の養成を目的とした、市民後見人養成研修の修了した受講生から、当会の法人後見事業に協力いただき、法人後見支援員としてご登録いただいています。

今回は、現在活動している法人後見支援員2名にお話を聞きました。



法人後見支援員
梅澤 成明 さん



法人後見支援員
細木 伸一 さん

法人後見支援員は、どのような事をしているのかを教えてください



私は、認知症高齢者2名の法人後見支援員を担当しています。担当している方は、施設に入所していますので、月1～2回施設で面会をしています。

被後見人等のお一人はすごく温厚で、コーヒーが好きな方なんです。世間話を交えながら、楽しそうにお話してくれます。顔は覚えてくれているようで、毎月会う際には、いつもお出迎えをしてくれるんですよ。とても嬉しい気持ちになりますね。ほかに、体調の具合や生活で困っていることを聞いたり、本人のことを大切に思っているよという気持ちを伝えていきます。



被後見人等と関わるうえで、大切にしている事はありますか 被後見人等：成年後見制度を利用している方。被後見人、被保佐人、被補助人と呼ぶ。



被後見人等と関わるうえで、私は相手の立場に立って、本人の意思をしっかり聞くことを大切にしています。「あなたに言いたかった、聞いてほしかったんだよ。」と話してくれた時には、法人後見支援員をやっていてよかったなと思います。

また適度な距離感を保って、嫌な気持ちにならないよう話し方などを心がけています。距離感を近くした方が良さそうな方とは、例えばお昼ご飯と一緒に食べたりもしました。食事の味を知ることは、本人の生活を知ることにもなるので大事だと思っています。本人との信頼関係を積み重ねて、寄り添いながら今後も支援していきたいです。

町民の皆さまにメッセージをお願いします



「ありがとう」と言ってもらえると、やりがいを感じますし、この活動をしていてよかったなと思います。成年後見制度を必要とする方にも今後の人生があり、その人生に寄り添い手助けとなる使命感をもった法人後見支援員がいてくれるといいですね。

法人後見支援員に登録してからも、自分の成長や勉強にもなりますので、一緒に活動いただける方が増えてくれるといいなと思います。



2025年には、団塊の世代の高齢者が75歳を迎え、より一層、少子高齢化が加速していきます。認知症をはじめ様々な方が地域に住んでおり、ともに生きることが地域社会の実現を目指していくことが重要です。

そのうえで、認知症を“自分事”として捉えることが大事だと思っています。まずは、地域の様々な方と関わってみるなど自分たちで出来ることをしながら一歩ずつ前進していきましょう。



ありがとうございました

※法人後見支援員のインタビュー内容については、個人情報保護のため、一部加工をしています。

※ 音更町市民後見人養成研修は次年度開催いたします（隔年開催により令和5年度は、開催いたしません。）

市民後見人とは??

認知症や知的・精神障がいなどにより、判断能力が低下した方の財産管理や福祉サービスの契約などを行い、その権利を守るため、後見等業務を行う知識・技量・人格を備えた一般町民の方です。

市民後見人養成研修では、成年後見制度や関連する事業、対人援助の基礎など幅広く学んでいただける研修となっています。



市民後見人養成研修修了後に、法人後見支援員の登録が可能です。～今後の社協だよりにて、詳細をご案内いたします。



第1号

音更町
老人クラブ連合会会報

令和5年5月現在
クラブ数 42クラブ
会員数 2576人
男性 1111人
女性 1465人
問い合わせ先：社会福祉協議会

音更町老人クラブ連合会の広報が新しくなりました

老人クラブをより身近に感じていただくため、これまで掲載してきた町老連行事の報告に加えて、地域で実際に活動している単位老人クラブに焦点を当てて、紹介していくこととなりました。老人クラブ会員の中から、4名の方が広報委員となり、各単位老人クラブの取材を行い、記事にしていきます。

音更町老人クラブ連合会ゲートボール大会を開催しました

第42回音更町老連ゲートボール大会を6月23日(金)、下土幌ゲートボール場で開催しました。6チーム34名の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。試合結果は、優勝・音和チーム、準優勝・むつみチーム、3位・東部福寿会チームでした。



優勝：音和チーム

第27回音更町老人クラブパークゴルフ大会

9月8日(金)にすずらん河川緑地パークゴルフ場で音更町老人クラブパークゴルフ大会を開催し、69名が参加しました。4人1組のグループに分かれ、他のクラブ会員同士、交流を深めながら、プレーを楽しみました。



～単位老人クラブの活動紹介～

音更町内には、42の単位老人クラブがあり、それぞれ地域の実情に応じて活動しています。今回は、4クラブの単位老人クラブの活動を紹介します。

西中音更老人クラブ（竹中政則会長、会員84名）

7月18日、毎月恒例の小学校周辺の環境整備に33人が汗を流しました。竹中会長が「充分注意をして作業をお願いします」とあいさつ。

集落センターや神社、保育所などの周りを手分けして行います。広大な面積の生垣では、剪定バリカンで、根気よく刈り込んでいました。きれいになった学校周辺、児童たちが気持ちよく通学できそうです。



豊田老人クラブ（矢野成則会長、会員73名）

7月2日から3日まで、26名が参加し、北広島市にオープンした新球場「エスコフィールドHOKKAIDO」にて野球観戦と恵庭市近郊のフラワーロードの視察を目的に研修旅行を実施しました。

1日目は野球観戦と宿泊ホテルにて和洋中の夕食宴会、カラオケもコロナ禍以前のように盛り上がりました。2日目、道の駅花ロード恵庭、えこりん村内銀河庭園内をバラの香りの中、散策。午後、あびらD51に力もらい、家族へのお土産を買い込み、道東道にて全員無事帰宅しました。



北蘭友愛クラブ（掛下昌己会長、会員155名）

平均年齢83歳弱の高齢者クラブですが、活動自体は停滞なく、「ふれ愛・友愛・助け愛」をモットーに活動しています。

今年は、3年ぶりの定期総会を開催し、多くの会員が参加しました。

5月から新型コロナが5類に変更されたことに伴い、休止していたふまねっと運動を再開しました。和気あいあいと健康寿命を延ばす運動として楽しい時間を過ごしました。その他、日帰り旅行や歩こう会、公園清掃、廃品回収など、様々な活動に取り組んでいます。



むつみ達者クラブ（三上陸奥夫会長、会員239名）

むつみ達者クラブでは、毎月、会報を発行し、会員の皆さんに活動報告などを行っています。クラブ内の同好会（茶話会、パークゴルフ、ゲートボール、カラオケ、麻雀等）を実施しています。その他、資源回収、児童の交通安全指導、旅行も実施しています。

ゲートボールは大会優勝を目指して、練習に励んでいます。15名程で子どものように生きいきと楽しんでいます。80歳を超える方もいますが、みんな仲良く年齢を感じさせません。



フードバンク事業へのご寄付ありがとうございます

令和5年6月1日～令和5年8月30日

フードバンク事業とは、生活にお困りの世帯に食料品等をお渡しするだけでなく、食品ロス削減にも寄与しようとする活動です。



木野農業協同組合 女性部様 (敬称略)

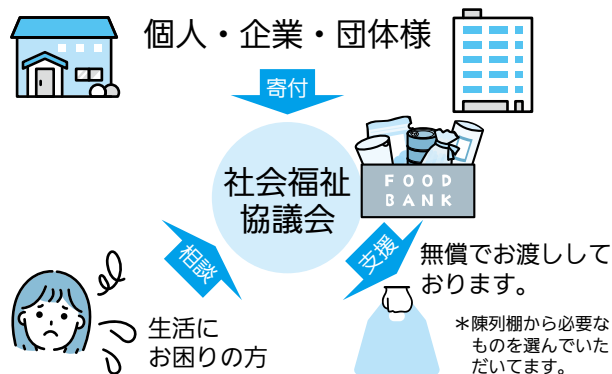
寄付者氏名	寄付金(円)
音更町農業協同組合	50,000
匿名	10,000

預託品名	預託者氏名	数量
LL牛乳(12本入)	よつ葉乳業株式会社	60 本
飲料	北海道コカ・コーラボトリング㈱	120 本
食品	石井 優里	27 点
お茶(2ℓ)	梅澤 成明	12 本
さば味噌煮	帯広財務事務所	120 パック
アルファ米(山菜おこわ)		300 食
災害備蓄保存用ぱん	音更町危機対策課	48 食
アルファ米(田舎ごはん)		100 食
アルファ米(白がゆ)		50 食
生理用品		19 パック
熱さまシート		1 箱
防災用おにぎり(鮭)	内閣法制局長官 総務室会計課	25 食
防災用おにぎり(わかめ)		25 食
防災用さばみそ煮		30 食
防災用ラーメン		50 食
乾しいたけ	名古屋高等検察庁 総務課	1 袋
インスタントコーヒー		1 瓶
お菓子		各種
お茶		1 袋
カップ麺		4 食
乾麺	国際ソロプチミスト おとふけ	3 袋
調味料		5 本
パックごはん		3 パック
焼きのり		10 袋
レトルトカレー		4 袋
トイレットペーパー		12 ロール
ティッシュペーパー		10 箱
缶詰(鰯蒲焼)	北海道開発局 網走開発 建設部	30 缶
缶詰(焼き鳥)		24 缶
その他(穀類)		2 個
麺類		5 食
米類		1 食
砂糖類		2 袋
油脂類	木野農業協同組合 女性部	1 本
調味料理		1 個
飲料		2 本
乾物類		27 個
缶詰		20 缶
その他		1 個
日用雑貨		20 点

預託品名	預託者氏名	数量
米	匿名	10 kg
お粥	匿名(他1件)	22 食
パックごはん	匿名	10 パック
スパゲティ	匿名(他1件)	22 袋
缶詰	匿名(他7件)	38 缶
お茶	匿名(他1件)	2 袋
紅茶	匿名	1 箱
インスタントコーヒー	匿名	1 袋
飲料	匿名(他3件)	77 本
春雨	匿名	2 袋
カップ麺	匿名(他2件)	72 食
スープ	匿名	32 食
レトルトカレー	匿名(他1件)	23 食
中華丼	匿名	3 食
玉子丼	匿名	2 食
海苔	匿名	8 袋
パスタソース	匿名	
油	匿名	4 本
お菓子	匿名	5 袋
お菓子(段ボール)	匿名	5 箱
食料品(段ボール)	匿名	4 箱
マスク	匿名	5 箱
衛生用品	匿名	7 個
ラップ	匿名	2 箱
トイレットペーパー	匿名(他1件)	18 ロール
ティッシュペーパー	匿名(他1件)	10 箱
入浴剤	匿名	6 枚
調理パック	匿名	1 箱

＼たくさんのご寄付をありがとうございます！

★寄物品の流れ★



フードバンクは、この社会にあふれる『もったいない』を『ありがとう』に変える取り組みです。



* ご厚志ありがとうございました * 令和5年6月1日~令和5年8月30日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭 (敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金 (円)	寄 付 金 使 途
音更町文化連盟 歌謡部	30,000	社会福祉協議会
匿名	31,031	
匿名	1,169	
匿名	2,000	
匿名	5,000	ラジオ体操



◎物 品 (敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	預託先
リングプル	国際ソロプチミストおとふけ	2kg	プルネット
	木野温泉	1,750g	
	人見 豊	12kg	
	柳町団地自治会	3g	
	菊地 裕介	30kg	
	小見山 節子	28kg	
	小笹 千佳子	2kg	
	介護老人福祉施設ロータス音更	13kg	
	匿名 (他1件)	86kg	
使用済み切手	国際ソロプチミストおとふけ	3,292枚	北海道ユニセフ
	高野 辰夫	数量不明	
使用済テレカ	国際ソロプチミストおとふけ	7枚	

預託品名	預託者氏名	数 量	預託先
ベルマーク	高野 辰夫	数量不明	西中音更小学校PTA
お米	匿名	5kg	喫茶はっぴい~
タオル	吟友・地域と共に歩む会	342枚	町内施設
	国際ソロプチミストおとふけ	数量不明	
	匿名 (他2件)	25枚	
かぼちゃ	谷崎 潤一	70kg	子ども食堂・町内施設
じゃがいも		150kg	
きゅうり	匿名	120kg	
なす	匿名	20kg	
商品券	匿名	1500円分	子ども食堂
お米券	匿名	5kg分	

たくさんのご寄付をありがとうございます

喫茶店で、あなたの「できること」「やりたいこと」見つけてみませんか？

音更町社会福祉協議会では、心身に障がいがあり、外出の機会が少ない方の社会参加の場として総合福祉センター内で「喫茶はっぴい~」を運営しています。作業の中で何か自分の得意とするものを見つけて、楽しい生活を送ることができるように関心を持って支援いたします。

[場 所] 「喫茶はっぴい~」
音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内

[時 間] 午前10時~午後3時30分くらいまで

*週に1~2回程度の活動
(土・日・祭日除く)

[条 件] ●概ね18歳以上の方
●音更町内に在宅する
心身に障がいのある方
(手帳の有無は問いません。)

[支援費] 1回につき1,000円の
支援費を支給

【業務内容】

- 接客
洗い物
レジ打ち
- コーヒー
など
飲み物の
提供
- 開店準備
閉店片付け
など

**喫茶店で一緒に
ボランティア活動しませんか？**

(生きいきポイント事業対象)

【時 間】

午前10時30分~午後3時00分
くらいまで *月に1~2回程度

【業務内容】

簡単な調理・業務補助・お話し
相手など

作業や雰囲気慣れるまで、ボランティア仲間と一緒に
入っていただきます。未経験の方でも大丈夫です。

~問い合わせ~ 電話：0155-42-5005
喫茶はっぴい~担当：加藤



ご本人やご家族の方の
見学だけでもOKです。
お気軽にお問い合わせください。

重要

一般除雪作業の予約受付について（ご案内）

昨年度より、高齢者就労センターの除雪は「除雪が困難な世帯」と対象を限定して実施させていただきます。

【除雪が困難な世帯の対象範囲について】

- ①65歳以上の高齢者のみ世帯であり、身体的又は精神的な理由により除雪が困難な世帯
 - ②上記に該当しないが、重い病気などにより、除雪が困難と当センターが特に認めた世帯
- ※同居の親族がいる場合（二世帯住宅を含む）や近隣に除雪対応してくれる方がいる場合は対象になりません。

※作業を行う会員数の都合上、1シーズンの登録受付は70世帯までに限らせていただきます。（受付期間内での事前受付のみ）

- ・概ね15cm以上（除雪車が出動する程度）の降雪時に止んでから作業します
- ・降雪の量により作業に入るまで数日お待ちいただくこともあります
- ・時間の指定はできません
- ・屋根の雪下ろし等、高所での作業はできません

作業代金 1,606円／1時間 より（交通費別途）

除雪機を使用する際は追加で1,650円／1回



事前受付期間

令和5年11月1日（水）～ 11月7日（火）の期間

平日 午前9時から午後5時30分まで（電話受付のみ対応）

音更町高齢者就労センター ☎42-3335

おかけ間違いのないようお願いいたします。

※上記期間内でも登録上限数に達した際は締め切らせていただきますのでご了承ください。

募集

高齢者就労センター会員募集！！

公共業務（草取り・草刈・リサイクル作業等）や、ご家庭から高齢者向きのお仕事を引き受けて、知識や経験、技術に見合ったお仕事を会員の方に紹介します。

- 原則として町内在住の概ね60歳以上の健康な方であれば会員登録できます。
- 働いた内容に応じ、毎月決められた日に配分金が支払われます。

それぞれにあった作業を紹介します

- 屋内外作業（草刈、草取り、庭木剪定、畑おこし、室内清掃、除雪など）
- 農作業（芋、長芋、ビート等の収穫支援）
- 事務作業（年賀状や封筒の宛名書き等）
- 資源ごみ収集作業

問い合わせ：高齢者就労センター ☎42-3335

